

佐原第三中学校再編だより

平成26年 4月 8日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

保護者アンケート調査結果がまとまる！

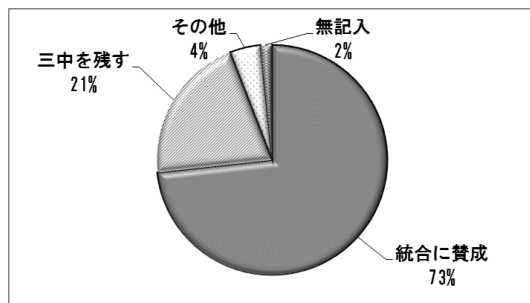
佐原第三中学校は小規模化が進み、現在は全学年が単学級で、クラス替えのできない状況にあります。小学校の学校再編について竟成小学校、福田小学校、神南小学校の各学校区で検討したときも、中学校の小規模化を懸念する意見が共通して出ておりました。

このため、佐原第三中学校、神南小学校、福田小学校、竟成小学校のPTA役員で構成する「佐原第三中学校再編PTA懇談会」を開催し、佐原第三中学校の統合について、保護者の意見をまとめることになりました。その際、アンケート調査を実施しましたので、結果をお知らせいたします。

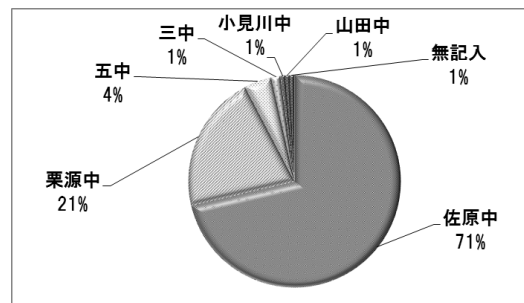
また、懇談会では、アンケート結果に沿った内容で、保護者意見を要望書という形で、とりまとめを行っております。

アンケートの対象世帯
佐原第三中学区の小中学生の保護者
203世帯（回収率92%）

○統合についてどう思いますか

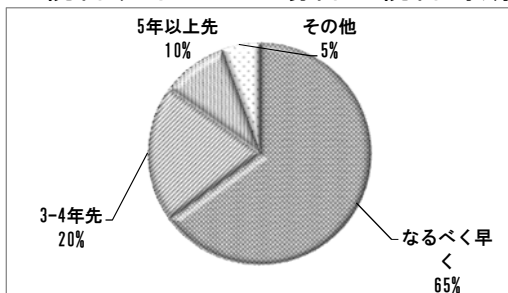


○賛成する中学校の統合先



- ・佐原第三中学校の統合については、賛成が最も多く73%を占めます。
- ・統合賛成と回答した人の中で統合先は、佐原中学校が71%を占めます。

○統合するとした場合の統合時期は、いつ頃が望ましいと思いますか。



- ・統合の時期はなるべく早くが65%、3～4年先が20%と、早急に取り組んでもらいたい意見が、大多数を占めています。

今後、教育委員会では、懇談会の要望書を受け、地域の合意を得て佐原第三中学校の統合を進めます。

佐原第三中学校再編だより

【佐原第三中学区】
平成26年 6月24日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第1回 佐原第三中学校 地域検討会議 を開催します。

佐原第三中学校の再編統合について、保護者の意見は「佐原中学校への速やかな統合を望む」という内容でした。

今後地域の意見を集約するにあたり、「佐原第三中学校地域検討会議」を設置します。このため、竟成小学校、福田小学校、神南小学校の各学区から代表者の選出を行っていただき、25名のメンバーが決まりました。

佐原第三中学校地域検討会議構成メンバー表

区分	内容	人数
地区住民の代表者	各小学区から3名	9人
保護者の代表	佐原第三中学校PTA	PTA役員 3人
	小学校PTA	各小学校から3名 9人
学校関係者	4学校の代表	各校の校長 4人
合 計		25人

地域検討会議では、保護者が望む「佐原中学校への統合」について、地域として対応を話し合います。

第1回佐原第三中学校地域検討会議は、下記の日程で開催いたします。会議は誰でも傍聴することができますので、御来場ください。

日時 平成26年7月24日(木) 午後7時から

場所 佐原第三中学校 3階 視聴覚室

主な内容

- ①香取市立佐原第三中学校地域検討会議の設立について
- ②香取市立佐原第三中学校地域検討会議設置要綱の制定について
- ③役員を選出について
- ④これまでの経過と今後の進め方について
- ⑤意見交換

佐原第三中学校再編だより

【佐原第三中学区】
平成26年 8月26日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第1回 佐原第三中学校 地域検討会議が 開催されました。



地域検討会議の様子
(視聴覚室にて)

第1回佐原第三中学校地域検討会議が平成7月24日に開催されました。当日は、本会議の設置目的や設置要綱が、教育委員会から提案され了承後、役員を選出しました。その結果は、裏面のとおりです。

意見交換では、会長が議長となり、佐原中学校へ統合するとした場合、スクールバスの運行について、心配することや統合について慎重に対応するなど、活発な協議が行われました。

また、学校関係者からは、児童生徒が減少することによる学校運営上の課題や、小規模校の良い点について、説明がありました。

(※主な意見や質問と回答の概要は裏面のとおり)

第2回佐原第三中学校地域検討会議は、下記の日程で開催いたします。会議は誰でも傍聴することができますので、御来場ください。

日時	平成26年9月30日(火)	午後7時から
場所	佐原第三中学校	3階 視聴覚室
主な内容	佐原中学校への統合について	

裏面へ

●役員選出結果

役職	氏名	備考
会長	青柳 伸一	学校評議員(神南小)
副会長	高木 健一	佐原第三中学校 PTA 会長
理事	宮崎 文夫	大崎区長・学校評議員(竟成小)
理事	石川 義行	本矢作区長
理事	岩澤 秀和	竟成小学校 PTA 監事
理事	篠塚 弘之	福田小学校 PTA 会長
理事	椎名 聖一	神南小学校 PTA 会長

●主な意見、質問と回答の概要

質問⇒遠距離の場合スクールバスとあるが、その距離は？

>中学生の場合、通学距離は6 km以上と考えている。

質問⇒佐原中へ統合した場合、制服はどうなるのか。

>なるべく保護者の負担にならないようにしたい。保護者と意見交換しながら進めていきたい。

意見⇒私たちが入学したころは、(一学年)170 人近くの生徒がいた。人数が少なくなり、学校がなくなるのは淋しい。統合を進めるのも良いが、もう少し時間をおいて進めるべきではないか。

>統合について、地域へもう少し浸透させて、進めたいということですが、保護者アンケートの中で、なるべく早く統合して欲しいという意見も多くあり、ある程度スピード感を持って進めたい。

質問⇒スクールバスの保護者負担はあるのか。

>スクールバスの保護者負担は、ありません。

傍聴人⇒統合が決まってから準備期間はどのくらい必要なのか。

>1年間は必要と考えている。

質問⇒統合後の佐原第三中学校跡地を、統合小学校として使わなくなった場合、跡地はどうなるのか。

>地域の皆さんとで組織する、跡地活用検討委員会で検討する。その場で、地域が使用したい意向があれば、それにゆだねる。特になければ、跡地活用検討委員会で利用方針等、地域の意見をまとめていただき、それを参考に市で土地利用を検討する。

佐原第三中学校再編だより

【佐原第三中学区】
平成26年10月27日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

～佐原第三中学校は、平成28年4月1日

佐原中学校へ統合～



地域検討会議の様子
(委員 22名の参加)
※視聴覚室にて

第2回佐原第三中学校地域検討会議が、9月30日に開催されました。
今回は、各地区の意見を各委員が把握してきたことを含め、佐原中学校への統合について、前回に引き続き話し合いを行いました。

会議では、議長から許可を得て傍聴人(10名出席)からも発言がありました。

検討結果としては、統合について心配される意見もありましたが「地元から中学校がなくなる事は、誠に残念であるが教育環境など、子どもたちの事を一番に考え、統合はやむを得ない。佐原中学校への統合に賛成する。」となりました。

また、統合時期については、教育委員会から、保護者アンケートで「なるべく早く」としていること、統合の準備に1年間かかることから、平成28年4月1日に統合の提案を行いました。

これについて、現在の中学1年生を佐原第三中学校で卒業させてあげたいので、統合時期を平成29年度に遅らせて欲しいとの意見や、統合の影響を直接受ける現在の小学6年生、中学1年生の保護者と子どもの意見を大事にして欲しいなどの意見がありました。

教育委員会からは、できる限り速やかな統合が望ましいことを説明し、検討の結果としては、「平成28年4月1日に全学年が一緒に統合する。」でまとめられました。
(※主な意見や質問と回答の概要は裏面のとおり)

[裏面へ](#)

●主な意見、質問と回答の概要

質問⇒佐原中学校以外へ進学した場合、スクールバスは運行されるか？

＞指定校は佐原中学校となるので、それ以外の学校へは、スクールバスは運行しません。

質問⇒小学3年生から中学1年生の保護者（と子ども）の意見を一番参考にして欲しい。

＞昨年度、保護者アンケートを実施しており、意見は反映されているものと、考えます。また子どもの意見について、教育環境を守るのは、大人の責任であり、子どもは当事者となることから、冷静な判断を大人の目で行うべきです。

傍聴人⇒地域へ十分な説明は、行われたのか？

＞これまで学校再編について、各小学区の地域の代表者や保護者の代表者で地域検討会議や、地域説明会を行ってきました。その中から佐原第三中学校の課題が指摘されてきました。また、今回の佐原第三中学校地域検討会議でも、地域から選ばれた代表者で構成され、委員は地域の意向把握に努力して、検討を行って頂いています。

傍聴人⇒来年の中学1年生は、統合先の佐原中学校へ進学し、中学2・3年生が卒業するまで佐原第三中学校を残すことはできないか。そうすれば、どの学年も転校がなくなるので、子どもにストレスがないのではないか。

＞統合先へ進学した中学1年生は良いかもしれませんが、残された中学2・3年生は、最後の年は中学3年生だけになり、更に小規模校となるため、文化祭や体育祭、卒業式などを行うことを考えますと、学校運営や教育環境としては、好ましくありません。また、学級数が減る事で、教員の人数も減少します。

＞他の統合事例を見ると、ほとんどが全学年一括で統合しています。これは、その方が子どもにストレスが、かからないからではないかと考えます。

質問⇒今の中学1年生は、統合が知らされていない状況で、佐原第三中学校へ入学しているが、来年の1年生は、統合することが分かって入学してくるので、心の準備ができていないのではないか。統合時期を平成29年度にできないか？

＞現在でも、佐原第三中学校は小規模化しているので、統合が決まれば「なるべく速やかな統合」を実施していきたい。保護者アンケートの結果も、統合は「なるべく早く」としています。1年間の準備期間があれば、佐原中学校と部活や行事などで色々な交流ができます。教育委員会も、子どもたちの不安の軽減に最大限取り組んでいきます。

【佐原第三中学区】

佐原第三中学校再編だより

平成26年11月25日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

佐原第三中学校地域検討会議 検討結果まとまる！

地域のシンボルでもある中学校が無くなることは寂しく、また、残念である。しかし、少子化が進む中、次代を担う子ども達の事を一番に考え、佐原中学校へ統合することに、賛成とする。

前回の「佐原第三中学校再編だより」(H26.10.27発行)でお知らせしましたとおり、9月30日に開催されました地域検討会議で、佐原第三中学校が平成28年4月に佐原中学校へ統合することについて、了承されました。

この度、10月28日に開催された地域検討会議の理事会で、検討結果報告書が了承され、教育委員会へ提出されましたので、お知らせいたします。

(検討結果報告書は、下記及び裏面のとおりに)

今後教育委員会は、統合に向け準備を進めていきます。今年度は制服、学用品やスクールバスのルートなどについての事前調整に取り組みます。

平成27年度は、統合準備委員会を設置し、本格的な統合準備に取り組んでいきますので、地域や保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

香取市立佐原第三中学校地域検討会議 検討結果報告書【抜粋】

教育委員会から提案のあった「佐原第三中学校を佐原中学校へ統合する。」ということについて、地域住民の代表者、保護者の代表者、学校教育関係者で組織する香取市立佐原第三中学校地域検討会議を設置し、各立場で地域の意向の把握に努力し、検討協議を行ってきた。

この度、その検討結果がまとまったので、香取市立佐原第三中学校地域検討会議設置要綱第2条の規定に基づき下記のとおり報告する。

記

1. 検討結果

教育委員会が提案する、佐原第三中学校が佐原中学校へ統合することについては、地域のシンボルでもある中学校が無くなることは寂しく、また、残念である。しかし、少子化が進む中、次代を担う子ども達の事を一番に考え、佐原中学校へ統合することに、賛成とする。統合時期については平成28年4月1日とし、佐原第三中学校の全学年が一緒に統合することで合意に至った。

なお、統合に伴い通学方法や生徒のメンタルケア等、保護者が心配している事項の解消に、教育委員会は尽力されたい。

2. 検討経過（省略）

裏面へ

3. 検討の概要

教育委員会の説明では竟成小学区、福田小学区、神南小学区の3小学区での地域検討会議や説明会等で、佐原第三中学校の小規模化の課題が指摘されてきた。

平成25年度には、佐原第三中学校と竟成小学校、福田小学校、神南小学校のPTA役員で構成する「佐原第三中学校再編PTA懇談会」が設置され佐原第三中学校の学校再編について協議を行った。会議では、保護者説明会や保護者アンケートが実施され、保護者の意見が取りまとめられた。その結果は、保護者の要望として「佐原中学校へ速やかな統合を望む。」ということであった。

佐原第三中学校が佐原中学校へ統合することについて、保護者の意見が確認されたことから、今回、佐原第三中学区の地域の意見集約を行うため「佐原第三中学校地域検討会議」を設置した。

佐原第三中学校地域検討会議を設置するにあたり、3小学区で各々地域検討会議を開催し、代表者6名を選出した。また、他に佐原第三中学校PTA役員3名と関係する学校長4名を加えて25名で佐原第三中学校地域検討会議を組織し、検討協議を重ねた。

統合について、地域説明会やアンケートを行い地域の意見を聞くべきではとの意見もあったが、今回の佐原第三中学校地域検討会議の委員は、各小学区の地域から選出された代表者で構成され、委員は地区集会や学校行事などを活用して、地域の意向把握に努力してきたことなどから、この地域検討会議で検討結果をまとめることとした。

教育委員会によると、市の人口は今後も減少し、特に15歳未満の人口は平成22年の国勢調査時と比較して、平成42年には半分近くに減少する推計である。また、佐原第三中学校も今年度82人の生徒数が、平成38年度には65人に減少する推計であり、今後も学校の小規模化は更に進み、クラス替えのできない1学年1学級による学級編成が続くなど、教育環境としては好ましくない状況になっている。

統合について

佐原第三中学校は、地域や教員の努力もあり学校運営には、素晴らしいものがある。しかし、学校は既に小規模化しており部活動の種類も少なく、教育環境の改善が急務である。生徒数が減少し続ける現状では、次代を担う子どもの事を一番に考え、統合することは、やむを得ないものと思われ、佐原中学校へ統合することに賛成とする。

なお、栗源中学校への進学希望もあることから、これらについては、配慮されたい。

統合の時期について

統合までの準備期間について教育委員会は、スクールバスの準備や佐原中学校の受入体制を整えるためには、1年間は必要としている。また、統合までの1年間に佐原第三中学校も統合に向けて、佐原中学校との交流事業等を行うことで、統合時の生徒の心の負担をなるべく減らし、より円滑な統合ができるとし、統合の時期については、平成28年4月1日に統合ができるとの提案が、教育委員会からあった。

統合に際しては、現在の1年生が卒業してから統合して欲しいとの意見があり、これについて教育委員会は、保護者アンケートでも「統合はなるべく早く」の支持が、60%以上あり、すでに小規模化している状況からも、スピード感をもって対処する必要があるとしている。

統合の時期を延ばすことは、課題の先送りの面もあり、また、佐原第三中学区から他校へ指定校変更を行う生徒の増加による、更なる小規模化の課題もある。小規模化の現状を踏まえると、なるべく早い統合が望まれることから、教育委員会から提案のあった平成28年4月1日の統合に合意する。

なお、学校統合に伴いスクールバスの運行や生徒のメンタルケア等、保護者が心配に思うことに対し、教育委員会は誠意をもって対応されたい。